

第18回 会員情報交換会／三日会

2016年6月27日(月)／ベイブリッジカフェテリア(パシフィコ横浜 会議センター)

第18回は、今年4月の女性活躍推進法施行を踏まえ、女性経営者の視点から女性が活躍するための課題をご提示いただくということで、株式会社Sound-Fの代表取締役社長・土屋清美様より



り「したたか+しなやかに女性が活躍する社会の中で」というテーマで、これまでのご自身の経験談に加えて、現在の仕事内容などを踏まえて、女性が社会の中で活躍するための課題や注意点などについてお話をしていただいた。(参加78名)

講演のあとの交流会は、当協会の理事で、過日、総務大臣特別表彰をお受けになられた山陽印刷株式会社の秋山桂子社長の乾杯で始まり、様々なレベルでの情報交流が行われた。

特に今回は、女性の参加者が3割超とこれまでで最も多く、とても華やかな雰囲気の中で予定時間いっぱいの歓談と交流会となり、日総ブレイン株式会社の清水智華子社長より中締めのご挨拶をいただいたあと閉会となった。

【土屋社長講演要旨】

- 男女の雇用格差の一番は平均年収の差。これにはさまざまな要因があるが、子育て～育休やパート・非正規比率が高いことなどが考えられる。
- 働きたい女性が働けるようにする機会をきちんと整えることが大事。会社としては、辞めなくても働き続けられる環境/条件を整備し、行政としては、辞めてもまた働き出せる環境づくりが必要。
- 女性自身が気を付けるべきことは、まず仕事を続けたいと思い、頑張っていること。そのためには、心身ともに健康であることが不可欠で、特に心の安定は重要。また、周囲にも信頼できる相談相手と味方を持つ事。使える制度等は堂々と使って良い。ただし、気配りを忘れない事。そして、強い気持ちで自分らしくいること。会社の中で自分の理想に近い「ロールモデル」を持てると良い。

